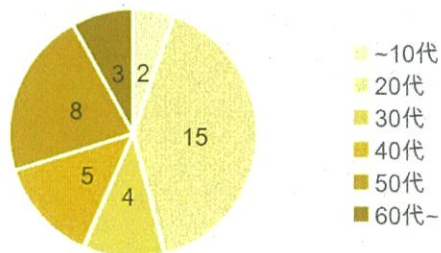


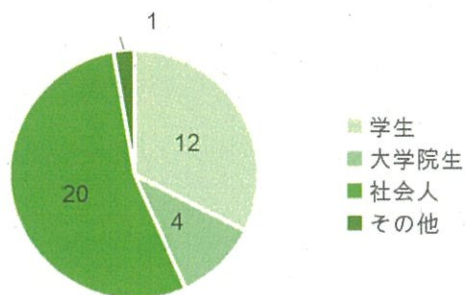
アンケート結果

回答者：37人

年齢



職業



①ご自身の専門分野を教えてください。(社会人以外はカッコ内に表記)

国際保健、保健医療、感染症疫学、感染管理、医療人類学、公衆衛生、看護(学生)、看護、公衆衛生看護、災害看護、難民支援(院生)、母子保健、地域保健、介護福祉、栄養(院生)、アレルギー関係、理学療法(学生)、薬学(学生)、医薬品開発、医学(学生)、救急医学、災害医学(学生)、医療、内科学、血液内科学、教育経済学(院生)、開発教育、平和教育、建築設計、SDGs、コミュニケーション、人道支援、まだ専門を持たない

②今回のフォーラムに参加してよかったと思いますか？

非常にそう思う

- 1 15 (40%)
- 2 19 (51%)
- 3 1 (2%)
- 4 4 (10%)
- 5 1 (2%)

全くそう思わない

③フォーラムの中で特におもしろかったと思う企画を教えてください

- アイスブレイク 1 (2%)
- 山本先生 12 (32%)
- 斎藤先生 9 (24%)
- 杉下先生 11 (29%)
- ワークショップ 2 (5%)
- 座談会 2 (5%)
- その他 0

④国際保健への関心は深まりましたか？

非常にそう思う

1 17 (45%)

2 17 (45%)

3 2 (5%)

4 3 (8%)

5 1 (2%)

全くそう思わない

⑤今後このようなフォーラムを通して学びたいテーマを教えてください。

【コロナ関連】

- ・ コロナ禍でのキャリアデザイン・ポストコロナ時代の生き方
- ・ コロナとの共存のための建築、都市の在り方
- ・ 各国のCOVID19の対応比較/海外のCOVID19関連について/現在のコロナ対応の進捗
- ・ 日本におけるCOVID19に対する実際の初動について
- ・ COVID19におけるリスクコミュニケーションの振り返りとあり方

【感染症】

- ・ 感染症について/感染症と差別、感染症とパラダイムシフト
- ・ 国民のヘルスリテラシーの向上
- ・ UHCの一部としての感染症対策、リスクコミュニケーション
- ・ 顧みられない感染症

【国際】

- ・ 国際の医療活動/国際保健及び医療の現場におけるデザイン思考の意義/国際支援/国際協力
- ・ GAVIやCEPI等グローバルヘルスに係る革新的ファイナンス機関についての説明
- ・ 感染症に対する差別への対応、途上国における遠隔で可能な対策/途上国の感染対策
- ・ 難民がアクセスできる保健サービスと課題/途上国医療
- ・ 今後の国際協力の在り方/途上国同士の連携

【社会】

- ・ NCDs、人口減少に伴う社会システムの変化、コスト・資源の効率化にフォーカスした医療体制のディスカッション
- ・ 企業の役割/多職種連携の実際/キャリアについて

【学術】

- ・ 母子保健について/公衆衛生学/緊急医療支援など/医療人類学
- ・ 東西の医療倫理
- ・ マイノリティや差別、教育について
- ・ 研究vs臨床、医療vs医学など

【その他】

- ・ 同じテーマに関して今回のようにいろいろな側面から意見を聞きたい

⑥先生方へのご質問があれば、お聞かせください。（全てのご質問に回答することはできない場合もございます。あらかじめご了承ください。）

【共通】

- ・ お三方に伺いたいのですが、諸外国の対応も踏まえて、日本のCOVIDへの対策/政策への評価はどのようにお考えでしょうか？もっとこうした方が良かった/この対策が良かったなどお聞かせ願いたいです。

【山本先生】

- ・感染による効果についてお話がありましたが、紛争への影響はありますか。(ex:貧困が悪化し紛争の悪化など。)
- ・新たな近接性について詳細を教えてくださいたいです。ソーシャルディスタンスを踏まえたコミュニケーションなどを指すのでしょうか。
- ・ケニアと日本で活動している一般社団法人OSAジャパン代表で、建築家の坂田泉です。先日は、アフリカのコロナ支援のチャリティイベントで、杉下先生、斎藤先生と共に、建築家の立場から登壇しました。今回のフォーラムでは、山本先生が取り組んでおられる「新たな近接性」に関心を覚えました。コロナとの共存のための建築や都市のあり方を考える上で大きなヒントとなるように思います。「新たな近接性」における先生の活動の内容がわかる資料、ウェブサイト等がございましたら、ご教示頂ければ幸いです。私のメールアドレスは、sakata.izumi@osa-rainbow.com です。よろしくお願いします。
- ・初動態勢を構築する際に、参考になっている資料、方針等がありますか？(ex:ics,mclsなど)
- ・院内感染のスライドで、職員1200人なのにPCR検査400名なのは何故ですか？ 何故、全員にPCR検査をしなかったのですか？濃厚感染者でないと証明されたのでしょうか？
- ・ウガンダの病因の映像でポスターは英語でしたが、現地の言葉は英語でしたか？

【斎藤先生】

- ・動画の中で説明のありました、アルコール消毒の輸送には問題について教えてくださいたいです。道が悪いなど配送や届くまでの管理が不十分といったことでしょうか。
- ・jicaもアフリカに対してコロナ対策を援助するというお話がありましたが、どのようなプログラムでしょうか。可能でしたら教えてくださいたいです。
- ・斎藤先生には以前ボストン大学の関係で面識がありました。今回のお話を伺いそのご苦労を改めて感じました。感染症と公衆衛生は切っても切れない関係なので、その意義についてもっと国民にアピールしてゆくべきだと思いました。

【杉下先生】

- ・グラフで対数目盛を使わないのは何故ですか？ 感染症は社会現象でなく自然現象ですので、対数的に変化しますし、そうすることで分かり易くなるのではないかと思います。
- ・アフリカでは、昔から野外トイレでした。遠くを見れるので襲われそうになる前に、素早く逃げるためです。トイレの設置運動の結果、レイプが増えましたが、この対策はどうされたのですか？

⑦今回のフォーラムについてご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。

- ・ありがとうございました
- ・楽しかったです
- ・とても有意義な日曜日の午前でした。
- ・幅広く興味深いお話がたくさん拝聴でき、非常に勉強になりました。
- ・運営もとてもスムーズで良かったです！
- ・いつものWHO共催企画くらいで、全体の時間の枠をもう少し長めに設定しても良かったのかなと思います。あとは、グループワークが一緒の人との今後の繋がりがなかなか作れなかったのが、コミュニティとしての機能ももう少し設計出来るとなお良かったのかなと思いました！
- ・長い間準備お疲れ様でした！
- ・アイスブレイクの際、フルメンバーが何人か分からず、また誕生月を記載しなかった方もいて進行が遅れてしまったので、グループ分けの人数の公表や名前の五十音順で早い人など工夫していただけるとよりよかったですと思いました。可能であればディスカッション時に困ったときにチャットができるように運営の方もグループでやりとりが可能な仕組みも持っていただけるとスムーズに活動できたと思います。
- ・会はとてもスムーズで、とても良かったです。大変勉強になりました。また機会がありましたら、参加したいと思います。
- ・運営ありがとうございました。普段と違った視点でCOVID19を考えることができたとて

も面白かったです。強いて言えば、各先生方のご講義をもう少し長く聞けると嬉しかったです。

- ・病院で感染管理を行なっていると、院内感染防止ばかり対策が主になりますが、地域の公衆衛生学に基づいた対策や予防対策を正確に伝える事が重要だと、学べたと思います。今後の地域医療を考えた対策を考えていきたいと思います。
- ・とても刺激のある会でした。ありがとうございました。
- ・講師との意見交換の場があったら、もっと理解が深まると思います。
- ・講師の資料を共有していただき有難うございます
- ・なかなか聞く機会のない先生方からの話もあり、興味深かったです。ありがとうございました。
- ・アイブレとワークショップで班が変わってしまったのが少し残念でした。
- ・とても良かったです。運営お疲れ様でした！またの機会を楽しみにしています。
- ・有難うございました。先生方のお話は皆さん大変貴重で勉強になり、参加して良かったです。もっと一般の皆さんに知って頂きたい内容でしたね。
- ・大変興味深い内容でした。ありがとうございました。
- ・感染症の歴史、医療現場、社会人類学、という異なる観点から、第一人者たちが一つの事象を語るという、非常に興味深い内容でした。ありがとうございました。
- ・日本人が途上国で活動・支援する意味を考えるうえで、タイトルにもなっている、ソーシャルデザイン、ライフデザインという言葉がとてもしっくりきました。医療者は感染症と戦うというイメージを持ちやすいと思いますが、共に生き、デザインするということを考えてみたいと思います。コロナを機に、日本のみではなく、世界にもっと目を向けつつ、その中で各国（日本を含む）のニーズに焦点をあわせて活動していけるように、その国らしさを大切にしながら健康につなげる視点を持ちたいです。
- ・コロナ対応では、ニュースに振り回されてしまう人がたくさんいたように思います。そうならないためにも、正しく怖がることや、シンプルなメッセージの伝え方、病院での対策や苦悩など、平時からできるヒントもたくさんいただき、大変興味深い内容でした。ありがとうございました。また、感染症のテーマでもやってほしいです。
- ・本当の敵はウイルスではない。全体主義と自由主義、唯物論と唯心論のイデオロギー戦争だ。
- ・学生さんは遠慮がちだったと思う。これから国際的に活躍する人たちは失敗してもよいからもっと発言してほしいと思う。